

三菱自動車支援に関する説明

2005.1.28

 三菱重工業株式会社

取締役社長 佃 和夫

1. 三菱自動車再生計画の概要について

経緯と今回計画の重点ポイント

事業再生計画(5月21日)

環境の変化

過去のリコール案件

更なる信頼失墜

事業回復の遅れと財務健全性に対する懸念

現 状

販売台数の低迷

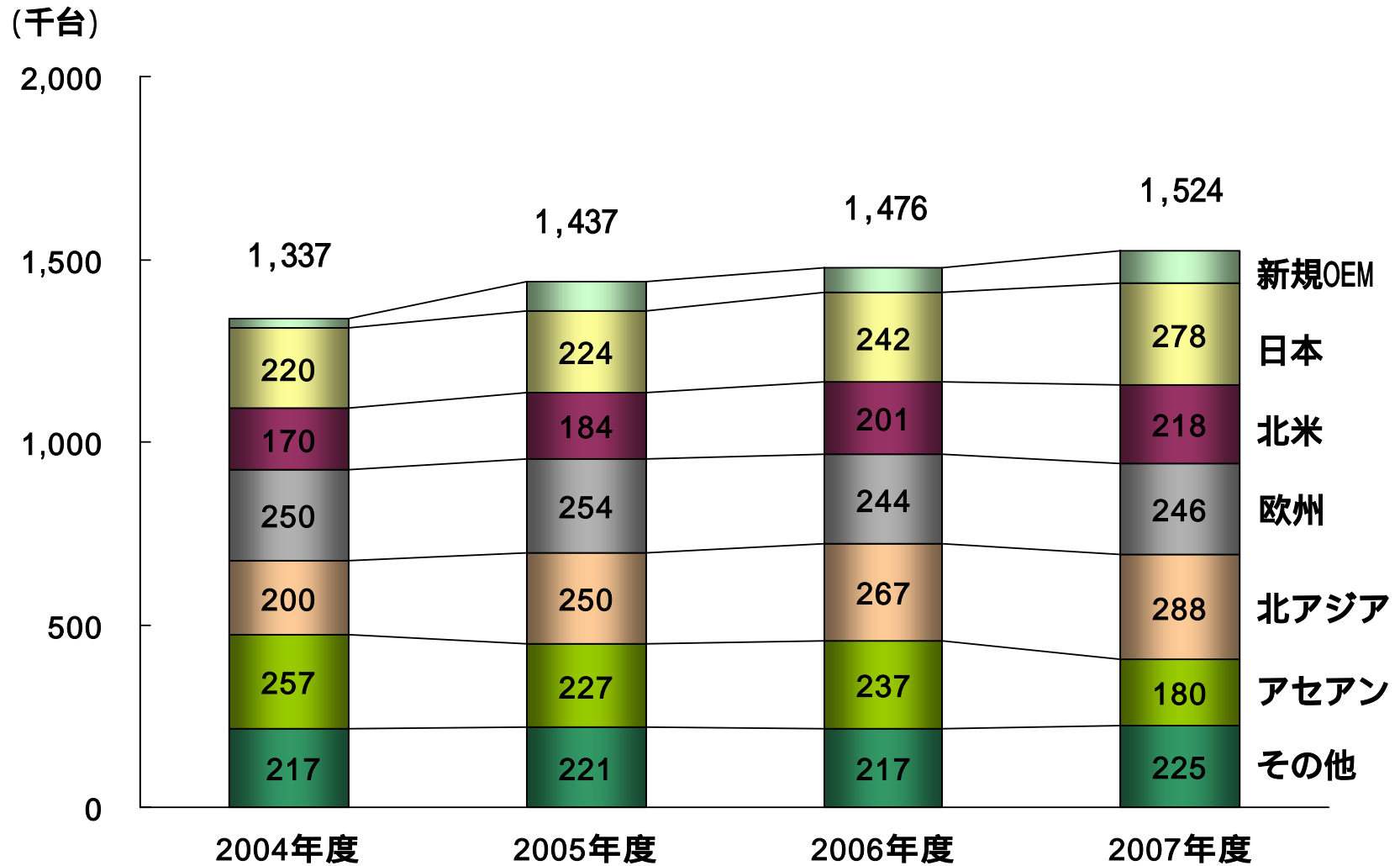
急速な資金不足

追加対策の必要性

今回計画の重点ポイント

1. お客様第一・信頼性の向上
2. 事業戦略
 - ・下振れリスクを織り込んだ販売計画
 - ・他自動車会社との事業提携積極推進
 - ・過剰生産設備, 販売体制の適正規模化(日本, 米国等)
3. 資本・資金の増強
4. 経営実行力の強化

地域別販売台数計画



事業戦略

商品戦略

積極的な新車投入計画

- ・車種展開の更なる効率化
- ・新車投入計画(グローバル展開車と地域専用車)
- ・国内販売車種展開計画



新型SUV



新概念軽

提携戦略

戦略的事業提携の積極的推進

- ・日産への軽乗用車のOEM追加供給(年間3万6千台)
- ・プジョー・シトロエン・グループ(PSA)へのOEM供給(2月上旬に調印予定)

地域戦略

- ・日本:販売会社を含めた安定的な利益体質の確立
販売子会社の統廃合
- ・北米:利益を出す体制の確立
過剰設備能力の適正化
販売金融面におけるメリルリンチとの協業

資本・資金の増強

増資額 3社合計2,700億円

<内訳>		(議決権比率)
当社	500億円	(15%)
三菱商事	700億円	(14%)
東京三菱銀行	1,500億円	(5%)



今後は3社共同で三菱自動車の経営再建を強力に支援

今回500億円の増資を引受け、平成17年度中に当社は従来からの保有分に加えて議決権比率を15%とする。

三菱自動車の業績見通し

(単位: 億円)

	03年度 実績	04年度 予想	05年度 予想	06年度 予想	07年度 予想
売上高	25,194	20,350	20,280	21,590	24,270
営業利益	969	1,320	140	430	740
(営業利益率)	-3.8%	-6.5%	-0.7%	2.0%	3.0%
経常利益	1,103	1,970	400	210	530
当期利益	2,154	4,720	640	80	410

必達目標

2006年度 黒字化
(当期利益 80億円)

2007年度 黒字体質定着化
(当期利益410億円)

2. 再生計画に対する当社の対応

三菱自動車再生計画の重点ポイント

1. お客様第一・信頼性の向上

2. 事業戦略

・下振れリスクを織り込んだ販売計画

・他自動車会社との事業提携積極推進

・過剰生産設備, 販売体制の適正規模化(日本, 米国等)

3. 資本・資金の増強

4. 経営実行力の強化

合理的かつ実現可能性の高い計画

外部専門家による
詳細なデューデリジンス

経営への関与

連結利益の増出

自動車関連事業の拡大

当社の自動車関連事業

マシニングセンタ



カーエアコン



専用工作機械



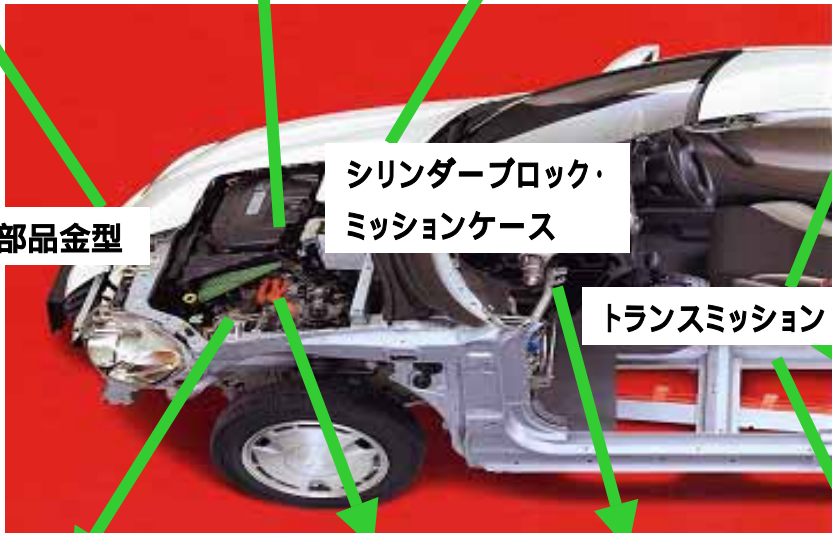
歯車工作機械



大形工作機械



プラスチック部品金型



シリンダーブロック・
ミッションケース

トランスミッション

ボディなど大物金型加工

(イメージ図)

エンジンバルブ



ターボチャージャー



ETC車載器



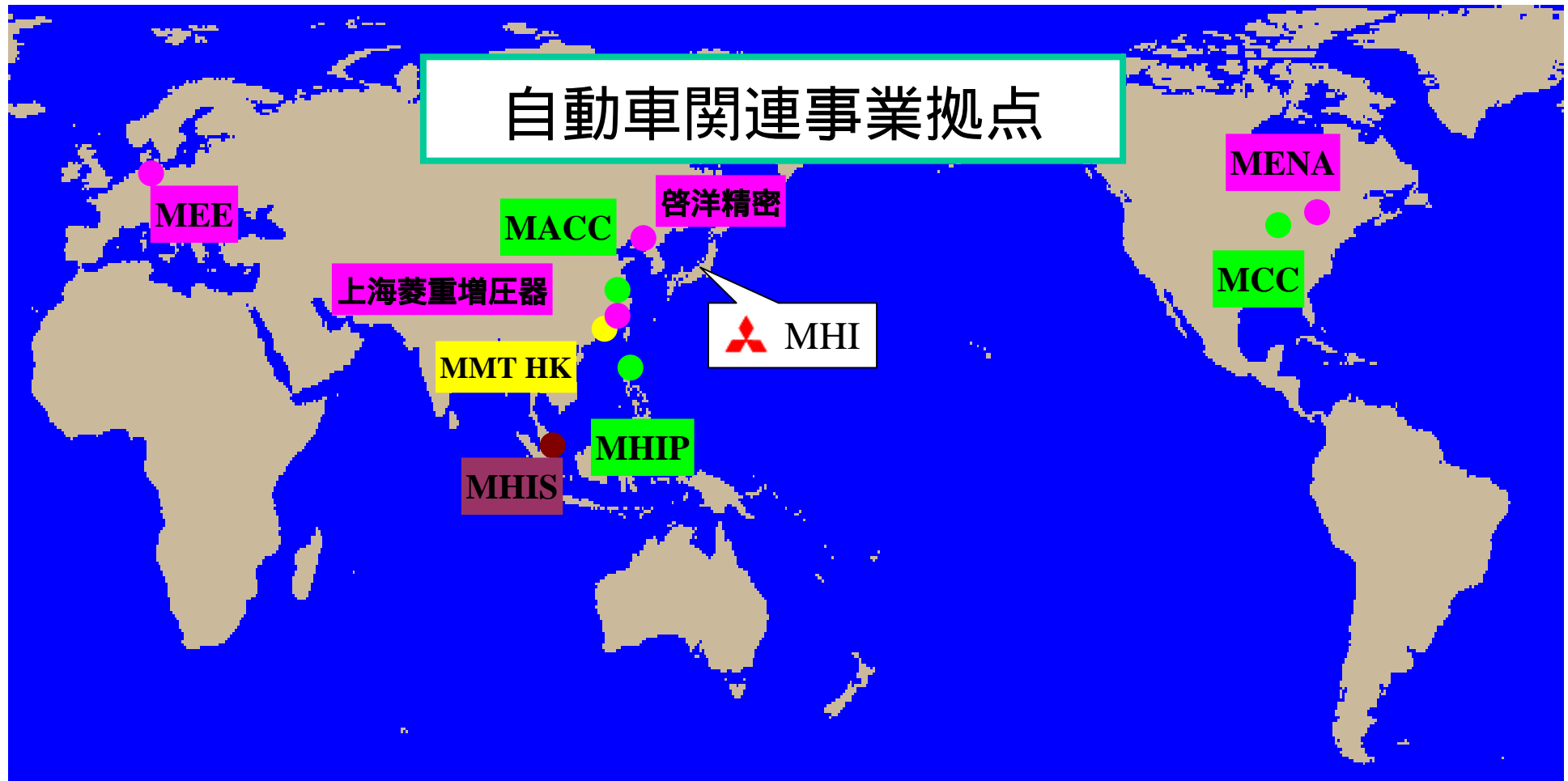
精密切削工具



トランスミッション



自動車関連事業拠点



ターボチャージャー



カーエアコン



工作機械・インジナルブ

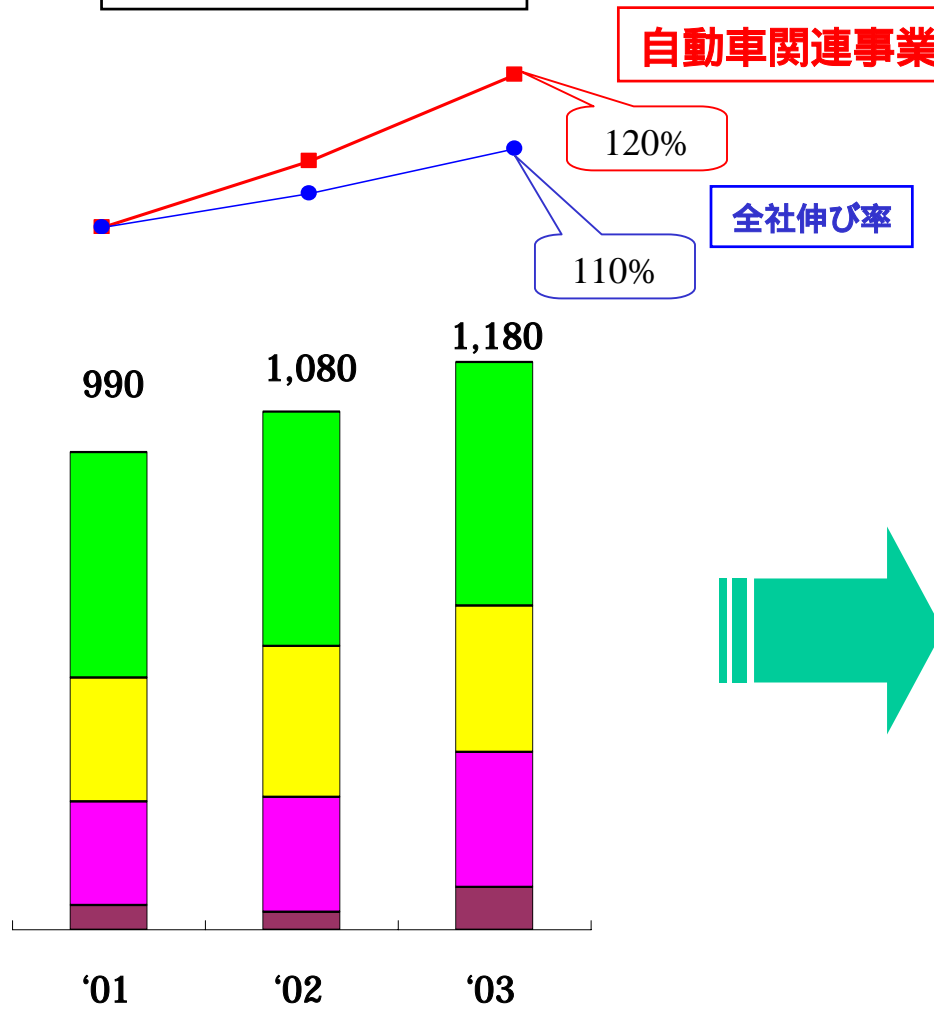


ETC車載器



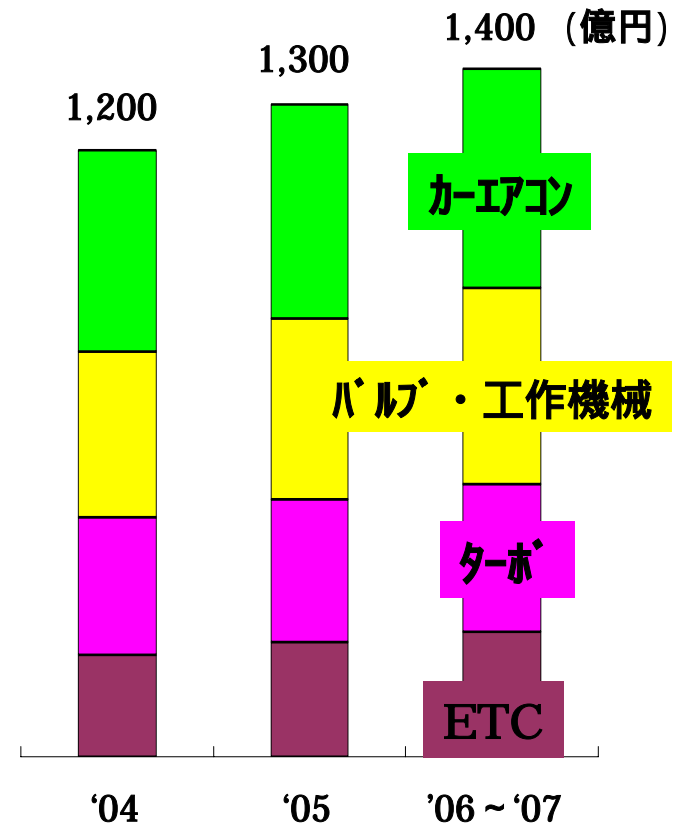
自動車関連事業の状況

受注実績推移



受注計画

(2004事業計画値)



三菱自動車の経営に関与

自動車本体のビジネスの市場動向や技術動向
の精度の高い情報キャッチ

当社の総合技術力との融合

自動車関連事業の拡大

連結利益の増出